

## 東京YMOリーグ実施要綱、令和3年度

### 1、リーグ戦方式で実施する。

- ① 勝点方式（勝3点、負0点、引分1点） ②勝率 ③得点率—失点率

### 2、参加資格

- ① 12名以上の選手登録（15歳以上：現役高校生野球部員、大学生野球部員は除く、性別不問、居住地は通常参加できる範囲）
- ② さざんかネットに、3チーム分以上のチーム登録をする。

### 3、選手登録

- ① 参加チームは、当該リーグ開催前に、選手登録名簿を事務局に提出する。  
氏名・背番号・住所・生年月日・電話番号を記入する。
- ② 新規選手登録は随時行うことができる。（試合当日可。追加加筆した名簿を審判に提出する。審判は、当該名簿を試合結果表、スコアカードと共に事務局に提出する。）
- ③ 二重登録は出来ない。（当リーグ参加チーム内）
- ④ 登録選手が不足のときは、試合実施のため登録外選手の出場を3名迄認める。（9名中3名以内又は10名中3名以内）  
審判チーム又は、対戦相手チーム以外の、当リーグ参加チームから借りてもよい。  
試合開始前に、相手チームの承諾を得る。登録外選手の打順は、3番、4番、5番以外とし、守備位置は、投手・捕手以外とする。（野球のユニフォームを着用すること。同じ背番号、他チームのユニフォームでも可。但し背番号が有ること。ジャージ、短パン、Tシャツ等は認めない。）

### 4、試合実施要項

- ① 集合は、グラウンド使用時間の30分前とする。メンバー表を審判ならびに対戦チームに提出する。
- ② 審判が通告した試合開始時間迄に、選手が揃わないときは棄権（不戦敗0対7）とする。
- ③ ベンチは、1塁側が後攻、3塁側が先攻とする。
- ④ 先攻、後攻は日程連絡時に指定する。（対戦表記の、前表記が後攻1塁側。後表記が先攻3塁側とする。）
- ⑤ 試合球は、「ナガセケンコー（株）製M号」とする。試合開始前に、新球1個と前回使用ボール（試合に使用可能）、又は新球2個、を審判に提出する。
- ⑥ 試合は、7回戦とする。  
1時間30分を経過後は、新イニングには入らない。  
7回終了前に、所定時間を経過する懸念のあるとき、審判は、7回終了前に試合終了の可能性のあることを、両チームに告知する。  
前記告知の有無にかかわらず、審判の終了宣告が優先する。  
グラウンド使用時間の10分前迄に、試合が終了しないときは、その時点で強制終了とする。  
不明の時は、責任審判員が判断する。このときは、均等回の得点で勝敗を決定する。
- ⑦ 試合は、4回終了をもって成立とする。
- ⑧ 4回終了時、又はそれ以降に10点以上の得点差が生じたときは、コールドゲームとする。

⑨ 4回終了時、又は試合終了時に同点のときは、引き分けとする。

⑩ 降雨その他の事情で試合の続行が不可能になったときは、次の処置をとる。

(1) 4回、成立以降は、均等回の得点をもって、勝敗を決定する。

(2) 4回、成立以降同点のときは、引き分けとする。

(3) 4回、終了以前は、再試合とする。

(4) 4回、後攻の時（以後の回同じ）に同点又は、後攻の攻撃中に同点になった後、3アウト成立以前に、試合続行が不能となった時（時間含む）は、同点引き分け、試合成立とする。（アマチュア野球規則）

## 5、DH制

(1) DH制の採用はチームの選択とする。試合のメンバー表提出で決定する。

(2) ローカルルール：当リーグのDH制は、守備位置と同様にとらえ、試合中の守備位置の移動として変更ができる。10名打席に立つことができる。

(3) 試合途中での変更は認めない。（意図的な打順変更防止のため。但し、負傷等不測の事態のため、9名で試合が続行できるときは、DH取りやめを認める。）

## 6、審判

(1) 登録チーム相互で、審判を行う。但し審判チームの支出をもって他団体に主審を依頼することはできる。他に責任審判員と記録員各1名は必要。

(2) 責任審判員又は記録員は、試合結果を速やかに事務局に報告する。書式は別途連絡します。

7、抗議権 基本的に抗議は認めない。但し、判定に至った経緯、ルール適用の適否についての確認を求めることはできる。（監督、及び当事者のみに限る。）

## 8、危険防止

(1) 金具スパイク、セラミックスパイクは禁止とする。（努力目標）

(2) 打者、走者はヘルメットを着用する。

(3) 捕手はヘルメット、マスク、プロテクター、レガースを着用する。

9、表彰 下記の表彰を行う。

(1) 優勝チーム、

(2) 最多勝、打率、打点、本塁打

## ○附則

① 各チーム、試合球を拭く濡れ雑巾タオルを用意し、きれいに拭いたボールを、球審に渡す。

ボールが汚いとき、球審はきれいに拭くように注意し、差し戻す。

② 試合前のグラウンド整備は、ラインロープ等を使用して、正確に整備する。